

徹底解剖！浮世絵で見る江戸のライフスタイル
—国貞・英泉・芳年の描いた「粋な」女たち

会期：令和7年12月6日(土)～令和8年2月8日(日)

展示作品目録

※番号は展示順序と異なる場合があります。

番号	縦 (cm)	横 (cm)	版型	分類	作者	作品名	読み仮名	制作年
第1章 文化文政～嘉永期								
1	75.4	24.9		掛物絵	菊川英山	手水鉢の母子	ちょうずばちのぼし	文化中期 (1810頃)
2	37.6	25.6	大判	錦絵	菊川英山	夏風俗美人姿	なつふうぞくびじんすがた	文化11 (1814) 頃
3	37.3	25.6	大判	錦絵	菊川英山	夏風俗美人姿	なつふうぞくびじんすがた	文化11 (1814) 頃
4	39.1	26.4	大判	錦絵	菊川英山	東都名所八景 不忍弁天	とうとめいしょはっけい しのばずべんてん	文政年間 (1818－30)
5	36.5	25.7	大判	錦絵	溪斎英泉	浮世美人見立三曲	うきよえびじんみたてさんきょく	文化12－天保13 (1815－42)
6	39.3	25.9	大判	錦絵	溪斎英泉	見立名所櫻尽 御殿山の花	みたてめいしょさくらづくし ごてんやまのはな	文化12－天保13 (1815－42)
7	37.4	24.5	大判	錦絵	溪斎英泉	今様美人十二景 おとなしそう 佃 新地之入船	いまようびじんじゅうにけい おとなしそう つく だしんちのいりふね	文政5 (1822)
8	36.9	25.4	大判	錦絵	溪斎英泉	辰巳八契 富岡の晩鐘	たつみはっけい とみがおかのばんしょう	文政5 (1822)
9	34.9	24.4	大判	錦絵	溪斎英泉	当世好物八契	とうせいこうぶつはっけい	文政6 (1823) 頃
10	24.3	18.1	中判	錦絵	溪斎英泉	十二ヶ月の内 六月 門涼	じゅうにかげつのうち ろくがつ かどすずみ	天保10 (1839) 頃
11	37.8	25.2	大判	錦絵	溪斎英泉	江戸名所仇競 高名輪乃春の梅	えどめいしょあだくらべ たかなわのはるのうみ	天保年間 (1831－45)
12	38.5	26.2	大判	錦絵	二代歌川豊国	風流五色糸 手水	ふうりゅうごしきいと ちょうず	寛政3－文政元 (1791－1818)
13	37.2	26.1	大判	錦絵	二代歌川豊国	風流東姿十二支 亥	ふうりゅうあずますがたじゅうにし いのしし	文政11 (1828) －天保5 (1835) 頃
14	37.0	26.0	大判	錦絵	二代歌川豊国	今様姿 流行狂画蝙蝠だんまり	いまようすがた りゅうこうきょうかこうもりだん まり	天保年間 (1831－45)
15	37.0	25.3	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	風流十二ノ内 皐月	ふうりゅうじゅうにのうち さつき	文化－天保年間 (1815-42)
16	37.2	25.0	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	風流十二ノ内 水無月	ふうりゅうじゅうにのうち みなつき	文化－天保年間 (1815-42)
17	37.5	25.0	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	風流十二ノ内 文月	ふうりゅうじゅうにのうち ふみつき	文化－天保年間 (1815-42)
18	37.2	25.6	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	風流十二ノ内 葉月	ふうりゅうじゅうにのつき はづき	文化－天保年間 (1815-42)
19	37.9	25.8	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	当世三十二相 系ぐい所のお娘御 じゃ相	とうせいさんじゅうにそう えぐいところのおむす めおじゃそう	文政初期 (1820頃)
20	36.2	25.2	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	名筆浮世絵鑑 奥村政信	めいひつうきよえかがみ おくむらまさのぶ	文政12 (1829)
21	37.2	26.1	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	あやつり狂言道行尽 おそめ久松	あやつりきょうげんみちゆきづくし おそめひさま つ	文政10 (1827)頃－嘉永 (1848- 54) 初期
22	37.5	25.6	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	若紫源氏総合	わかむらさきげんじえあわせ	嘉永 5 (1852)
23	38.6	26.1	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	今世斗計十二時 丑ノ刻	いまよどけいじゅうにじ うしのこく	天保年間 (1831－45)
24	38.1	26.2	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	本朝風景美人競 陸奥松島	ほんちょうふうけいびじんくらべ むつまつしま	天保 (1831－45) 初期
25	44.8	18.4	中判	掛物絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	大和義婦伝 孝女於園	やまとぎふでん こうじょ おその	天保14－弘化4 (1843－47)
26	37.6	25.9	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	百人一首絵抄 四 山部赤人	ひやくにんいつしゅえしょう やまべのあかひと	天保14－弘化4 (1843－47)
27	37.7	25.8	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	百人一首絵抄 十七 在原業平	ひやくにんいつしゅえしょう ありわらのなりひら	天保14－弘化4 (1843－47)
28	38.5	26.8	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	月の陰忍逢ふ夜	つきのかげにあうよる	天保 (1831－45) 末
29	37.0	25.2	大判	錦絵	歌川国芳	本朝景色美人図会 伊勢二見浦景	ほんちょうけしきびじんずえ いせふたみうらのけ い	文化8－11 (1811－14)
30	37.5	76.8	大判	錦絵	歌川国芳	婦人諸礼鑑 婚礼	ふじんしよらいかがみ こんれい	天保14－弘化4 (1843－47)
31	34.9	24.9	大判	錦絵	歌川国芳	源氏雲浮世画合 若菜 下	げんじぐもうきよえあわせ わかな げ	天保14－弘化4 (1843－47)
32	35.9	74.7	大判	錦絵	歌川国芳	四季遊観納涼のほたる 夏	しきゆうかんのうりょうのほたる なつ	弘化2－3 (1845－46)
33	37.2	74.7	大判	錦絵	歌川国芳	泉水舟乗初	せんすいふなのりぞめ	弘化4－嘉永5年(1847－52)
34	37.5	25.1	大判	錦絵	歌川国芳	艶姿十六女仙 彭祖	えんしじゅうろくじょせん ほうそ	弘化4－嘉永5年(1847－52)
35	37.0	70.7	大判	錦絵	歌川国芳	つもる夜の梅	つもるよるのうめ	嘉永元－5 (1848－52)
36	36.7	73.8	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	睦月わか湯の図	むつきわかゆのず	弘化4－嘉永5 (1847－52)
37	36.6	75.1	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	花鳥風月ノ内 風	かちょうふうげつのうち かぜ	弘化元 (1844) －嘉永年間 (1848 －55)
38	36.8	74.9	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	南都八景 南円堂の藤	なんとはっけい なんえんどうのふじ	弘化4 (1847)
39	37.4	76.7	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	夕寿々美	ゆうすずみ	嘉永年間 (1848－54)
40	36.9	73.9	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	にわか夕立	にわかゆうだち	嘉永5 (1852)
41	35.0	23.0	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	百品嘶 道行燈の局ばなし	ひゃくいろばなし みちあんどんのつぼねばなし	弘化4－嘉永5 (1847－52)
42	35.0	25.1	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	百品嘶 涼台の団扇ばなし	ひゃくいろばなし すずみだいのうちわばなし	弘化4－嘉永5 (1847－52)
43	34.5	23.0	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	百品嘶 鏡台の嫁入ばなし	ひゃくいろばなし きょうだいのよめいりばなし	弘化4－嘉永5 (1847－52)
44	37.8	75.6	大判	錦絵	歌川芳虎	風流弥生月	ふうりゅうやよいのつき	弘化4－嘉永5 (1847－52)
45	35.4	74.7	大判	錦絵	二代歌川国政	東海道五十三次 大井川之図	とうかいどうごじゅうさんつぎおおいがわのず	弘化4－嘉永5 (1847－52)
46	37.7	76.2	大判	錦絵	二代歌川広重	江の島弁財天開帳詣	えのしまべんざいてんかいちょうもうで	弘化4－嘉永5 (1847－52)
第2章 幕末明治期 (I)								
47	36.4	74.0	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	武蔵名所 調布多摩川	むさしめいしょ ちょうふたまがわ	安政元 (1854)
48	37.4	25.8	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊 国)、二代歌川広重	雙筆五十三次 三嶋	そうひつごじゅうさんつぎ みしま	安政元 (1854)
49	37.1	75.2	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	吾妻源氏見立五節句 皐月	あづまげんじみたてごせつく さつき	安政2 (1855)
50	36.0	74.0	大判	錦絵	歌川国貞 (三代歌川豊国)	当盛三曲揃	とうせいさんきょくぞろえ	安政3 (1856)

51	37.2	25.7	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	江戸名所百人美女 根津権現	えどめいしょひやくにんびじょ ねづごんげん	安政5（1858）
52	37.1	25.8	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	江戸名所百人美女 駒形	えどめいしょひやくにんびじょ こまがた	安政5（1858）
53	37.1	25.6	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	江戸名所百人美女 芝神明前	えどめいしょひやくにんびじょ しばしんめいまえ	安政5（1858）
54	37.2	25.9	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	江戸名所百人美女 内藤新宿	えどめいしょひやくにんびじょ ないとうしんじゅく	安政5（1858）
55	37.2	25.7	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	江戸名所百人美女 新大はし	えどめいしょひやくにんびじょ しんおおはし	安政5（1858）
56	36.9	26.9	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	江戸名所百人美女 第六天神	えどめいしょひやくにんびじょ だいろくてんじん	安政5（1858）
57	37.1	25.5	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 初段	ちゅうしんぐらえきようだい しょだん	安政6（1859）
58	37.2	25.5	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 二段目	ちゅうしんぐらえきようだい にだんめ	安政6（1859）
59	37.2	25.6	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 三段目	ちゅうしんぐらえきようだい さんだんめ	安政6（1859）
60	37.0	25.5	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 四段目	ちゅうしんぐらえきようだい よだんめ	安政6（1859）
61	37.2	25.6	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 五段目	ちゅうしんぐらえきようだい ごだんめ	安政6（1859）
62	37.1	25.5	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 六段目	ちゅうしんぐらえきようだい ろくだんめ	安政6（1859）
63	37.2	25.6	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 七段目	ちゅうしんぐらえきようだい ななだんめ	安政6（1859）
64	37.2	25.5	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 八段目	ちゅうしんぐらえきようだい はちだんめ	安政6（1859）
65	37.2	25.6	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 九段目	ちゅうしんぐらえきようだい くだんめ	安政6（1859）
66	37.6	25.8	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 十段目	ちゅうしんぐらえきようだい じゅうだんめ	安政6（1859）
67	37.2	25.7	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 十一段目	ちゅうしんぐらえきようだい じゅういちだんめ	安政6（1859）
68	37.1	25.6	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	忠臣蔵絵兄弟 大尾	ちゅうしんぐらえきようだい たいび	安政6（1859）

第3章 幕末明治期（Ⅱ）

69	36.1	25.1	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	今様押絵鏡 お柳の方	いまようおしえかがみ おりゅうのかた	安政末－万延元（1860）
70	37.5	25.6	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	今様押絵鏡 つちや梅川	いまようおしえかがみ つちやうめかわ	万延元（1860）
71	37.0	25.3	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	今様押絵鏡 八重桐 坂東彦三良	いまようおしえかがみ やえぎり ばんどうひこさぶろう	文久元（1861）
72	37.2	25.0	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	当世好すがたのあつらへ 柳楼小糸つ	とうせいごのみすがたのあつらえ やなぎろうこえつ	慶応3（1867）
73	36.9	25.2	大判	錦絵	月岡芳年	一魁随筆 顔臣御前	いっかいずいひつ かおよござん	明治6（1874）
74	36.9	49.7	大判	錦絵	月岡芳年	新撰東錦絵 生嶋新五郎之話	しんせんあずまにしきえ いくしましんごろうのはなし	明治16（1883）
75	36.9	49.1	大判	錦絵	月岡芳年	新撰東錦絵 白木屋於駒の話	しんせんあずまにしきえ しらきやおこまのはなし	明治21（1888）
76	37.5	25.4	大判	錦絵	月岡芳年	風俗三十二相 しだらなさそう	ふうぞくさんじゅうにそう しだらなさそう	明治21（1888）
77	37.3	25.4	大判	錦絵	月岡芳年	風俗三十二相 暗そう	ふうぞくさんじゅうにそう くらそう	明治21（1888）
78	37.4	25.3	大判	錦絵	月岡芳年	風俗三十二相 いたそう	ふうぞくさんじゅうにそう いたそう	明治21（1888）

番外 大阪編

79	25.5	17.6	中判	錦絵	長谷川貞信	浪花自慢名物尽 福本寿司	なにわじまんめいぶつづくし ふくもとすし	19世紀
80	25.8	17.5	中判	錦絵	長谷川貞信	浪花自慢名物尽 天満大根	なにわじまんめいぶつづくし てんまだいこん	19世紀
81	25.4	17.6	中判	錦絵	長谷川貞信	浪花自慢名物尽 大丸呉服店	なにわじまんめいぶつづくし だいまるごふくてん	19世紀
82	25.2	17.7	中判	錦絵	長谷川貞信	浪花自慢名物尽 にんじん	なにわじまんめいぶつづくし にんじん	19世紀
83	25.3	17.6	中判	錦絵	長谷川貞信	浪花自慢名物尽 駿河屋駿河屋煉羊羹	なにわじまんめいぶつづくし するがやねりようかん	19世紀
84	25.3	17.5	中判	錦絵	長谷川貞信	浪花自慢名物尽 小倉屋鬢付	なにわじまんめいぶつづくし おぐらやびんづけ	19世紀
85	25.2	17.7	中判	錦絵	長谷川貞信	浪花自慢名物尽 玉露堂扇	なにわじまんめいぶつづくし ぎょくろうどうおうぎ	19世紀

第4章 吉原風俗

86	37.8	25.9	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	吉原斗計 未ノ刻 昼の八つ	よしわらどけい ひつじのこく ひるのやつ	文化8－11（1811－14）
87	37.6	25.9	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	吉原斗計 子ノ刻 ひけ九つ	よしわらどけい ねのこく ひけこのつ	文化8－11（1811－14）
88	37.5	24.5	大判	錦絵	歌川国貞（三代歌川豊国）	風流花暦 女郎花	ふうりゅうはなごよみ おみなえし	天保年間（1831－45）
89	37.4	25.6	大判	錦絵	歌川国安	松葉屋内粧ひ	まつばやのうちよそおひ	文化12－天保3（1815－32）頃
90	38.4	26.3	大判	錦絵	歌川国安	通俗水滸伝豪傑百八人之一人 扇屋内花ぞの	つうぞくすいこでんひゃくごうけつはちにんのひとり おうぎやのうちはなぞの	文政（1818－30）末－天保（1831－45）初期
91	39.1	26.1	大判	錦絵	歌川国安	通俗水滸伝豪傑百八人之一人 玉屋内花紫	つうぞくすいこでんごうけつひゃくはちにんのひとり たまやのうちはなむらさき	文政（1818－30）末－天保（1831－45）初期
92	39.7	26.0	大判	錦絵	溪斎英泉	姿海老屋内七里	すがたえびやのうちななさと	文化12－天保13（1815－42）
93	38.4	26.2	大判	錦絵	溪斎英泉	逢妓八契 二丁町の黄昏	おうぎはっけい にちようまちのたそがれ	19世紀前半
94	38.0	26.2	大判	錦絵	溪斎英泉	辰巳八景 洲崎の落雁	たつみはっけい すざきのらくがん	文政5（1822）
95	38.7	26.1	大判	錦絵	溪斎英泉	吉原要事 松葉屋内代々山	よしはらようじ まつばやのうちよやま	文政6（1823）頃
96	36.0	24.6	大判	錦絵	溪斎英泉	若那屋内花衣	わかなやのうちはなごろも	文政8（1825）頃

参考展示：近代の複製画

97	38.5	26.7	大判	錦絵	東洲斎写楽	佐野川市松	さのがわいちまつ	〔寛政6（1794）〕
98	38.0	25.7	大判	錦絵	喜多川歌麿	七五三子宝合帯ときの図	しちござんこだからあわせおびときのず	〔19世紀〕
99	39.1	26.4	大判	錦絵	喜多川歌麿	風流子宝合 行灯	ふうりゅうこだからあわせ あんどん	〔享和2（1802）頃〕
100	37.0	24.5	大判	錦絵	喜多川歌麿	当世踊子揃 三番叟	とうせいおどりござろい さんばそう	〔寛政5（1793）頃〕
101	37.8	25.4	大判	錦絵	歌川広重	名所江戸百景 浅草金龍山	めいしょえどひゃっけい あさくさきんりゅうざん	〔安政3（1856）〕
102	38.1	25.0	大判	錦絵	歌川広重	名所江戸百景 深川洲崎十万坪	めいしょえどひゃっけい ふかがわすざきじゅうまんつば	〔安政4（1857）〕
103	37.8	25.6	大判	錦絵	歌川広重	名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕景	めいしょえどひゃっけい あかさかきりばたけうちゅうゆうけい	〔安政6（1859）〕
104	36.8	23.8	大判	錦絵	歌川広重	名所江戸百景 大崎安宅の夕立	めいしょえどひゃっけい おおさきあたけのゆうだち	〔安政4（1857）〕